

令和 8 年度第 2 回収蔵資料展 「江戸・東京の特産物と種子屋―榎本留吉商店と種子屋街道―」 豊島区立郷土資料館で 9 月 23 日まで開催！



豊島区は、区立郷土資料館にて収蔵資料展「江戸・東京の特産物と種子屋―^{たねや}榎本留吉商店と種子屋街道―」を 9 月 23 日(水・祝)まで開催しています。

一大消費都市である江戸・東京を抱える近郊農村では、土地条件を生かした野菜栽培が盛んでした。やがて、幕末から昭和 10 年代にかけて、板橋～滝野川～^{たねどんや}巣鴨の中山道沿いに野菜の種子問屋が集まり、「種子屋通り」(種子屋街道)と呼ばれ、全国各地の野菜の種子の一大集散地となりました。

本展では、幕末から^{こうしんづか}巣鴨庚申塚で種子問屋を営んできた榎本留吉商店(現東京種苗株式会社)の寄贈資料を中心に、令和 5 年に豊島区指定文化財となった榎本留吉商店(「榎本家店舗兼住宅および新座敷」)の文化財的価値や、数多くの品種や特産物を作り出し、全国に売り広めた種子屋の役割と種子屋街道

の歴史を紹介します。

会期中は、学芸員による展示の見どころ解説を行うほか、夏休み自由研究用のワークシートや野菜に関連したワークショップ、スタンプラリーなど、様々な関連イベントを実施します。

開催にあたり、区の学芸員は「約 200 点の種子屋の道具やカタログ、文書資料のほか、野菜の種子見本を多数展示しています。クイズラリーやワークショップを通して、子どもたちや若い世代の方に、農業や^{しゅびょうぎょう}種苗業に興味・関心をもっていただければと思います」とコメントしました。

■令和 8 年度第 2 回収蔵資料展「江戸・東京の特産物と種子屋―榎本留吉商店と種子屋街道―」開催概要

会期：令和 8 年 9 月 23 日(水・祝)まで ※休館日：月曜日(9 月 21 日は開館)

時間：9 時 00 分から 16 時 30 分

会場：豊島区立郷土資料館(西池袋 2-37-4 としま産業振興プラザ[IKE・Biz]7 階)

公式 HP：<https://www.city.toshima.lg.jp/129/bunka/bunka/shiryokan/kyodoshiryokan/2604241131.html>

展示の様子：

